



おかむら通信 190 号



令和 3 年 2 月号

ご挨拶 院長より

コロナ感染において、当院では院内感染防止に以前から努力しています。窓を開け、各スペースに換気扇、光触媒をもちいた機器の設置などです。ウィルスの不活化をする。そのうえで必要に応じて防護服、フェイスシールド、N95マスクなどを着用しています。松戸市内をみると、感染された若い 20・30・40 代の無症状の方々が、巷での感染拡大に寄与してしまっているように思います。まだまだ、政府の緩い、計画性の少ない発表を信じて行動されないほうが、身のためですね。きついことを言うようですが。自らしらべ、自ら考えよう、そして行動です。

今月の言葉、

言わせていただければ、PCR 検査を出来るだけ多くの方におこない、感染者と非感染者をわけ、また、大きな箱、たとえば、千葉県なら、幕張メッセ東京なら選手村（巨大なスペースがあります）に、コロナ専用の治療スペースをつくり、さらに国のコロナ対策を徹底して進めてほしいです。そうすれば、もっと劇的に COVID-19 感染は収束にむかいます。　国思う某何某より
院長より

1 千葉県も都内もいま医療機関の従事者/医師・看護師等の感染が急拡大しています。即投与すべき治療薬もままならない、先手を打つための薬も与えられていない、とくに開業医です。それでも、有志の医師たちが、命がけで診断治療に力を割いています。また、かなりの病院、診療所が赤字を強いられています。ぜひ国民全体で、協力してコロナに立ち向かっていただきたいですね。

2 最近、外来で思う事：老年学、小児精神学の概念が必要、その根底に人間学というものが存在するように感じています。哲学みたいなものかな、つまり医師は総合的に診て医療を行うべきだと思うのです。

3 ふたたび、このところ、外来での神経ブロック治療の必要性が高まっています。神経ブロックを施行される先生が減っています。特殊な麻酔方法です。硬膜外神経ブロック、星状神経節ブロックなどです。まれにおこる局麻剤ショック、神経原性ショック、アレルギー性ショック（アナフィラキシーショック）に対処することのできる先生が必要です。

4 带状疱疹ヘルペスの治療において神経ブロックを必要とされる方が当院では、増えています。診断が遅れると、治療しても、長らく、带状疱疹後神経痛で苦しまれることになります。できれば発症後、数日以内ならどうにかなります。

1か月もたつてしまうと、痛み、しびれが残り、なかなか治りにくいのです。





5 検診とは何か？ 検診を年1回やっていれば良いというものではありません。

検診は、一部の医療機関をのぞけば、ほとんど、ほとんどの人に同じ検査を行います。かつ診察があっても、表層的で、結果のお話も、コンピューターのお返事なのが実情ではないでしょうか。まとめのお話、ドクターにしてほしいですね。

6 経験豊富な医師ならば、患者さんが、外来のドアを開けて入った途端、その方にとって何が問題か、5つや6つの病態を推察することが出来ます。医師が脈診、触診、全身診察をし、既往歴などよく話し合うとさらに病状が見えてきます。そして先生に、よく説明を受ける事が大事なのです。

7 院長の姿勢について；先月8日以降、空手稽古、ジム（プール）など人がたくさん集まるところへは行きません。おかげで運動不足のため、体がいまいち、ぴりっとしませんが。

8 診察室で、酸素飽和度（SPO2）、体温測定しているのは、隠れたコロナ感染や肺炎、心不全、（頻拍や不整脈）などを探るためです。

9 まえにも言ったかな？肺は自分で膨らむことも縮むこともできません。自分の呼吸筋群（今度説明します）を使って呼吸をするのです。

10 カルテの見直しを診療終了後行っていますと、いろんなことがわかつてきます。たとえば、ピロリ菌陽性の方でズーーっと除菌をされていない人がいます。できれば徹底したいですね。発がんの危険性、かなりのもんですよ。

11 最近、「なんとかせねば」と思うことが、よくあります。コロナの世界中へ広がり、日本の行く末、もっとうまく治療ができるのにな、救える人がもっといるのではないか？わたしの人生とは？庸介先生が常勤になりましたがコロナ下で十分に働き切れていないこと、効率よいワクチンの打ち方、ワクチン接種時の稀なるアナフィラキシーショックに備えてのエピペンなどの準備など。

<1月の院長の院内外活動>

3/ (日) 松戸市当番日、患者さん診察	当院
7/ (木) 糸東流空手 稽古	馬橋
20/ (水) Web講演会「糖尿病・治療戦略」	当院
22/ (金) COVID-19感染に対して、当院の姿勢 検討	当院
23/ (土) コロナワクチン接種のための準備（千葉県）	当院
25/ (月) Web講演会「循環器・心不全治療薬」	当院
27/ (水) Web講演会「糖尿病・標準治療」	当院
28/ (木) Web講演会「糖尿病と遺伝および体質」	当院
30/ (土) Web講演会「循環器・肥満患者 CKD 患者の治療」	当院

たぬきじい日も増えて、春に向かって
ほんの少し季節が変わってきたというふうを感じます。
薄着にTシャツ前に私モテレーティエットをがんばろ！！
と思います。コロナに負けない元気な体でいきましょう。石原

